

【第4次県教育ビジョン】
『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人
(自立力・共生力・創造力)



【学校の教育目標】

志をもち 共に向上する

【岐阜市教育大綱】

学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する

目指す (第1・2・3期)

自分のよさや為すべきことに気づき、確かな志をもつ

■温かさ

- ・自他のよさが見える目や心を養い、仲間のよさを積極的に伝える

■しなやかさ

- ・自分の弱さから目を背けず、改善に向けて前向きに取り組もうとする

やり切る (第4・5・6期)

志を叶えるために、果敢に挑戦し続け、具体的な事実を残す

■温かさ

- ・仲間と互いに頑張りを認め合い、支え合いながら共にやり切る

■しなやかさ

- ・壁にぶつかっても、乗り越える方法を自分で考え、挑み続ける

確かめる (第7期)

自分で築いた財産を確かめ、自信と誇りをもつ

■温かさ

- ・自分の成長を支えてくれた仲間の存在に感謝する

■しなやかさ

- ・「いつでもできる」「1人でもできる」まで高める

【卒業時に身に付けさせたい力】

どんな状況に置かれても、他者を思いやる温かい気持ちを失うことなく、志をもち、しなやかに乗り越えていく力

【経営方針】

『温かさ』

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、決して自己中心的な振舞いをせず、他者を思いやることができる、血の通った温かさを身に付ける

『しなやかさ』

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動できる、決して折れないしなやかさを身に付ける

仲間づくり 『安全・安心な学校づくり』 → 「学校は楽しい」「また明日も学校に来たい」

- 仲間との心的結合を感じ、連帯感や絆が味わえる学級経営
- 主体的・自治的・創造的な活動を生み出す学級活動および生徒会活動（生徒を前面に出す）
- 重点① ◎不登校生徒への粘り強く丁寧な対応（校内フリースペース・家庭訪問・放課後登校・オンライン授業など）
- いじめ防止（未然防止・早期発見・迅速対応・再発防止・長期見届け）
- 悩みや困り感の漏れのない把握（ここタン・各種アンケート・SC/S相/ほほえみ相談員との連携など）
- 関係諸機関との連携（エールぎふ・中央市相・岐阜北警察署および島交番・病院など）

学びづくり 『学ぶ意味や喜びを味わえる授業づくり』 → 「授業は役に立つ」「もっと学びたい」

- 知的好奇心をくすぐる仕掛けづくりと、「できた」「わかった」が味わえる学習過程の工夫
- 「自分で考える時間」と「自分の考えをアウトプットする時間」の設定
- 重点② ◎主体的、対話的で深い学びを実現させる協働学習の推進（授業のOS改革）
- ICTの積極的な活用（ロイロノート・スタサブの有効活用）
- 「できない」「わからない」と感じている生徒の辛さや悔しさに寄り添った授業改善と支援体制の充実
- 防災・健康教育（感染症や熱中症を含む）による自助力の向上

志づくり 『自己肯定感を生み出す環境づくり』 → 「私にも～なよさがある」「将来～な人になりたい」

- 重点③ ◎志達成のための、スモールステップ目標の設定・見届け・価値付け・自己認識（成長作文など）
- 生徒相互に認め合う場の設定（よいこと見つけなど）
- 教職員から浴びせる「褒め褒めシャワー」（いじめ対策監は、毎週金曜日に昼の放送で）
- 地域行事やボランティア活動への参加（校内での除草・苗植えなどのボランティア活動も可）
- キャリア教育の充実（キャリアスクール：点ではなく線の途中にある行事として）

【家庭・地域との協働】

- キャリアスクール・ぎふMIRAI's（身近な「人」「もの」「こと」から生き方を学ぶ）
- 地域の行事やボランティア活動（夏祭り・みそぎ祭り・公園の清掃活動・市民運動会など）
- 部活動の地域移行（令和5年度以降、休日の部活動を完全に地域移行）
- 学校HP・YouTubeチャンネル「島中魂」・学校だより・スマート連絡帳などによる情報発信
- PTA活動・学校運営協議会・支援推進委員会
- 学校評価（自校職員・保護者・外部関係者）